

5年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文において、筆者の主張、要旨を読み取ることができるようになってきた。 ・物語文において、登場人物の心情や行動を正しく読み取ることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎漢字の定着における個人差が大きい。 ・語彙の数が少ない。 ・筆者に対する自分の考えを「書く」こと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字ドリル・タブレットを活用し、習熟を図り、漢字の小テストを定期的に行う。 ・国語の教科書の巻末「言葉の宝箱」を活用し使える言葉を広げるとともに、新しく獲得した言葉を日頃からも使うように指導を重ね、定着を図る。 ・自分の考え、学習感想などを書く時間を頻繁に設け、自分の考えを書くことに慣れるようにしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心が高く、意欲的な取り組みが見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎資料を正しく読み取ることが苦手な児童がいる。 ・社会的事象について、疑問に思ったことや感じたこと、自分の考えを書くことに苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取り方を丁寧に指導し、自力解決の時間を確保する。 ・資料から分かったこと、疑問に思ったことを考えさせ、自分の言葉でノートにまとめさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・算数的活動にすすんで取り組む児童が多い。 ・立式から課題解決までの過程において、根拠に基づいて自分の考えを表せる児童が増えてきた。 ・比例や割合についての基礎・基本は定着しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎答えを求めた後、検算をしたり、見直しをしたりすることをせずに間違える等、ケアレスミスが多い。 ・分度器の見方や角の大きさについて基礎の定着が不十分な児童が一定数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問をよく読み、設問に合わせて答えを導き出せるようにする。 ・自分の考えを図や数直線等を使って表し、根拠とすることができるようにする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科への興味・関心が高く、特に、実験・観察に対して意欲的な取組が見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることによって知識が定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎考察（予想・結果）を書く際、自分の言葉でまとめることが苦手な児童がいる。 ・理科的な用語を正しく覚えられない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結果から分かったこと、結果から生まれた新たな疑問など、考察に書く内容を具体的に示すことや例題に即した内容を掲示するようにする。

<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力しながら演奏したり、音楽づくりをしたりすることを楽しんでいる姿が見られる。 ・互いの音を聴きながら、音量のバランスや響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎歌唱への意欲は高いが、曲想のふさわしい歌い方の技能が身に付いていない。 ・リコーダーや鍵盤楽器の演奏で、技能面での個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の響きをより豊かにするために、呼吸や声の響きに留意した歌い方を試したり、言葉の発音を意識したりしながら歌うように声掛けをする。 ・適宜個別指導を行い、楽器の演奏を苦手と感じている児童を支援する。
<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士で温かな声を掛け合い、意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ・自分の表したいことを明確にもって主体的に取り組むことができる児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分が表したいものに合わせ、材料や表現の仕方を主体的に考えられる力を付けること。 ・表したいことについて、思い付いて形に表すまでに時間がかかる児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認しながら、どのような表し方ができるのかを思い出し考える機会を設けたり、自分の思いに合わせて選択できるよう画材や材料を多数用意したりする。 ・発想を広げる段階においてスモールステップで進められるように、ワークシートの発問を精選する。
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができる。 ・裁縫道具を正しく使い、作品を作ることができるようになってきた。 ・調理のポイントを理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校や家庭において、知識の活用を図れるよう指導を工夫していく。 ・グループ活動において積極的に取り組める児童と、任せてしまう児童の差が大きい。 ・手先の不器用さにより、縫い目がそろわない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で学習したことを日常生活に関連付けることで、より一層の理解の定着を図っていく。 ・グループ活動の役割を考えさせて取り組ませる。
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に対する意欲が高く、友達と協力しながら取り組むことができている。 ・体育に関する道具を正しい使い方で使うことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の課題に向かって、どう取り組めばよいのか分からず、ただ単に取り組む児童が多い。 ・運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動のポイントを学ぶ時間、学び合いの時間を意識的に設け、さらに深い学びにつなげていく。
<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができ、英語を聞き取ろうとしたり、すすんで声を出して発音したり意欲的に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎単語を聞き取る際、似た発音の単語を間違えて覚えていることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・綴りを見せたり、音と物を一致させるためにフラッシュカードを使用したりする。